

第3回 SSTV ALL JA コンテスト

主催：西日本コンテストクラブ

期間：2010年6月15日(火)0900 ～ 20日(日)2100 (JST) (132時間)

資格：国内のアマ局

モード：以下の2モード

① アナログモード(MMSSTV 等)

② デジタルモード(EasyPAL HAMPAL 等)

周波数：3.5～28MHz帯 (7Band)

3.5MHz帯----3528KHZ 3531KHZ 3534KHZ 3537KHZ

3705KHZ 3708KHZ 3711KHZ 3714KHZ

7MHz帯----7033KHZ 7166KHZ 7169KHZ 7172KHZ

7175KHZ 7178KHZ 7181KHZ 7184KHZ

14MHz帯----14230±3KHZ ステップ

18MHz帯----18140±3KHZ ステップ

21MHz帯----21340±3KHZ ステップ

24MHz帯----24960±3KHZ ステップ

28MHz帯----28600±3KHZ ステップ

(注意-1)：上記の各周波数で運用の際は その周波数が空いている事を
事前に充分確認した後に使用すること

(注意-2)：使用電力及びモード等は自局の免許の範囲内であること

(注意-3)：7MHz帯での「呼び出し」周波数について

アナログモード(MMSSTV)は 7033KHZ 及び 7169KHZ

デジタルモード(EasyPAL)は 7178KHZ を推奨

(注意-4)：3.5MHz帯での「呼び出し」周波数について

アナログモード(MMSSTV)は 3528KHZ 及び 3531KHZ

デジタルモード(EasyPAL)は 3705KHZ 及び 3708KHZ を推奨

交信方法：呼び出し：「CQ SSTV ALL JA TEST」

コンテストナンバー：RSV+JARL 制定都府県支庁ナンバー

使用画像：画像はオリジナルなものであれば原則として何でも良いが

出来れば自局のQTHの特色を示すものが望ましい。

部門：シングルOP マルチバンド部門のみとする

得点：異なった局との同一バンド同一モードの1交信につき次ぎの得点とする

① アナログモードでの交信は1点

② デジタルモードでの交信は2点

又 同一局でもモードが異なれば同一バンドでの交信を有効とし上記の
各得点を認める。又 バンドが異なればモード別に上記得点を認める
ただし同一バンド同一モードでの重複交信及びクロスモード交信及び
クロスバンド交信は無効とし得点を認めない。

従って (7Band×2モード)で 局当たり 14 回の QSO が可能 よって
E スポによるバンド状況を的確に把握し効率良く QSO されて下さい。

マルチ：J A R L 制定都府県支庁数で 同一バンドでは初めの 1 交信をマルチ
とし 以後 モードが異なっても マルチとしない。又 バンドが異
なれば同一都府県支庁であってもマルチとして認める。

従って 1 バンド当たり最大 60 個

総得点：各バンドで得た (交信得点の和) × (マルチの和)

書類提出：J A R L 制定サマリーシート・ログシート, 又はこれに準じる形式
のものとし, 所定の事項を記入し提出. サイズは A 4 のみとする。

又 電子メールによる提出も可 その場合はテキスト形式のログ
及び テキスト形式のサマリーを下記アドレスに送付の事

又 J A R L Web の電子ログ様式を活用の場合は 50MHZ の欄に 18MHZ を
また 144MHZ の欄に 24MHZ の QSO 結果を記入下さい。

サマリー用紙記入用の参加部門の種目・コードナンバー

コードナンバー	種目
SOPSTV	SSTV シングルオペ・マルチバンド

E-Mail : wjtest2@yahoo.co.jp

締め切り：2010 年 7 月 21 日 (消印有効)

提出先：〒 8 8 2 - 0 8 6 5 宮崎県 延岡市 鶴ヶ丘 1 丁目 1 2 - 2 4
山 本 四 郎

結果発表：1 位から 3 位まで表彰

順位確認希望者は サマリーに電子メールアドレスを記入の事
(後日 E - m a i l にて結果送付) 又は 郵送希望者は
返信用 120 円切手を同封の事

その他： 次ぎの場合は失格とする

- ①電波法令に違反した運用が明らかに認められた場合
- ②提出書類の不備・虚偽記載が認められた場合
- ③重複局が全体の 2 % を越えた事が判明した時は失格とする。

以 上